

43号です。副議長を交代しました。議員活動10年目、初心に帰って頑張ります。応援よろしくお願い致します。

# 豊中らしさを創る

無所属 36歳

豊中市議会議員



# 温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

## 松岡信道と、もっと豊中市！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールへ向かって走ります。

### 幻の誘致、豊中慶応義塾

#### 小林一三氏と慶応義塾

箕面有馬電気軌道（現在の阪急電鉄）をはじめ、東宝、宝塚歌劇などを手掛けた小林一三氏は、慶応義塾正科（現在の慶応義塾大学）を卒業しました。

小林一三氏は経済界での手腕を買われ、商工大臣などの国務大臣を務めた戦前戦後の政治家でもありました。

慶応義塾は明治初期、地方の学生が就学できるように、最初の分校となる「大阪慶応義塾」を大阪市内に設立しましたが、数年で閉校したそうです。

#### 豊中村長の手紙

豊中市史によると、小林一三氏が慶応義塾分校を豊中に誘致しようとしたが、断念して地元で違約金を支払ったそうです。それを裏付ける資料として、当時の豊中村長の渡辺安太郎氏が出した手紙に「慶応義塾敷地買上ノ件、今般漸ク終了ヲ告ケ」とあり、誘致に向けて土地収用をした記述があります。渡辺氏の村長在任が明治32年〜大正4年であることから、すでに「大阪慶応義塾」は閉校していたと考えられます。当時の小林一三氏は、現在の阪急箕面線、宝塚線を開通し、高校野球発祥の地となった豊中グラウンドを建設しました。一度は大阪に設立された母校の慶応義塾分校を、豊中で復活させようとしたのかもしれませんがね。

### バースプラン・バースレビュー

#### 大切な出産体験

男性には出産体験ができないので、理解は進みにくいのですが、女性にとつてはとても重要な体験です。初産で辛い体験をしてしまうと、二人目の出産を敬遠したくなります。初産を大切にして良い経験にすることによって、第二子出産の意欲となり、少子化対策につながるかもしれません。

豊中市における救急搬送前の出産が9件ありました。妊娠した喜びの時は、まさか自分が自宅や救急車で出産するなんて思ってもいられないでしょう。

#### 院内助産「はぐみ」

妊婦さんから辛い出産体験を聞く機会があり、こうした事例を少なくするための施策を検討しています。市立豊中病院で設置している「はぐみ」ではバースプラン（どんな出産がしたいか）・バースレビュー（出産がイメージどおりであったか）を実施しています。夫婦が主体的に出産・子育てと向き合うため、医療従事者が真摯に協力する姿勢が求められています。

初産における不安を取り除くためにバースプランは必要ですし、児童虐待が社会問題となるなか、出産後の子育て意欲を高めるためにバースレビューが効果的であると考えています。市内医療機関への普及を進めていきます。

### 議会インターンシップ募集

#### 全国4位の榮譽

私が大学生の時に他の市議会でインターンシップを体験したので、初当選以来、インターンシップ生を受け入れ、ライフワークにしています。次世代の育成のため、インターンシップに係る費用は、ご支援をいただく皆様からのカンパを充てています。

28年春のインターンシップでは「未来自治体」という政策コンテストにエントリーしたところ、唯一の関西代表として全国大会に進出し、全国4位の榮譽をいただきました。多くの学生に参加していただきたいですし、広くご支援をいただければ幸いです。

#### 副議長任期満了の御礼

#### 副議長経験を活かして

議員3期目を副議長としてスタートさせていただき、おかげさまで大過なく、一年の任期を満了できました。ことに心より厚く御礼申し上げます。中島紳一議長のもと、豊中市議会を代表し、内外問わず、働かせていただいたことは無二の経験となりました。

この経験を活かして、豊中市議会の改革、豊中市政の発展のために初心を忘れず働かせていただきます。皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# とよなか創政記

## ～学びの保障と連続性を～

多くの子どもたちは、健やかに育ち、まじめに勉強して、成長していきます。しかし、家庭事情や人間関係など、様々な要因で、「人生のつまずき」を18歳までに迎えてしまうことがあります。

不登校、ひきこもりなど、18歳までの「人生のつまずき」には様々な状況があります。「私の子どもは大丈夫かしら」というような個人の問題ではなく、「つまずいた子どもたちが、しっかりと大人になれるようにする」という社会の問題として考えたいと思います。

### 不登校の現状と課題

豊中市内の小・中学校の児童生徒の中で、不登校（文部科学省が定義する年間30日以上欠席）の状況は358人です。少年文化館（適応指導教室）学校への復帰を目的とした場所）における状況は下表のようになっています。

平成26年度	小学生	中学生
相談援助件数	34人	74人
完全復帰(週5日)	5人	5人
一部復帰(週1~3日)	27人	46人

民間のフリースクールに通っているか、どこにも通うことができない子どもたちが250人もいる現状を厳に認識し、現状把握に努めることを求めています。

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

## 少年文化館の役割

平成元年から先進的に取り組んできた少年文化館は千里と庄内にあり、小・中学校への復帰を目的とした支援をするため、卒業すれば支援が終了してしまい、学力の保障ができていません。高校を卒業しなければ、就職も、専門学校などへの進学も困難な時代です。安全面から終了しました。また、平成23年から実施していた中学校卒業後の寄り添い型学習を平成27年から若者支援に移管し、行政の都合で場所も担い手も変わってしまい、子ども本位の施策になっていないのが現状です。

## 中学校夜間学級の役割

様々な事情により義務教育を修了できなかった人のため、全国に31の中学校夜間学級があり、豊中には四中夜間学級があります。学ぶことができなかった人たちが、学ぶ喜びを感じられる場所となっています。実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業してしまった場合でも、学び直しの機会として入学できます。しかしながら、不登校になっている子どもたちは、復帰すべき学校があるため、中学校夜間学級に通うことができません。夜間学級から、学ぶ直しの機会として活用できるように要望しています。

## 定時制高校の役割

学びを保障する場として、豊中市には桜塚高校定時制があります。しかしながら、府立であること、受験があることから、学びの連続性に欠けています。中高一貫での学びの保障と連続性を確保するため、市立高校の実現が必要と考えます。豊中市にはかつて市立高等女学校があり、高等教育を実施していました。なお、定時制であれば、市立高校を設置しても、教職員の給与は府費負担になることが法律で定められているため、豊中市の財政負担は小さいのが重要なポイントです。

## 小・中学校の再編とともに

豊中市南部地域では、市内の他地域に先駆けて小学校と中学校の統廃合が議論されており、小中一貫校の整備が大義名分となっていますが、地域の活性化策と跡地の利用方法が示されていない点で問題があります。

南部地域には高校がないため、高校が必要との声を聞いています。庄内少年文化館、四中夜間学級とともに中高一貫での市立定時制を研究しています。学びの保障と連続性を確保できる全国初の教育施設として、小・中学校を再編すべきと考えます。地域の活性化につながることも、「人生のつまずき」に陥ったとしても、本人や保護者が不安にならなくてもいいような教育・子育て環境を構築したいです。

温故創新を受け取ってください。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

不在時は職員に連絡先をお伝えください。

TEL:06-6858-2525 (代表)  
FAX:06-6852-2384 (議会控室)  
Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1  
※せつかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。  
※市議会会派：無所属の会として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

### 【伝言板】

- 41号において、中島議長のお名前に誤りがありましたので、裏面のとおりに訂正させていただきます。お詫び申し上げます。
- 市内全域に活動範囲を広げて、東奔西走しております。「よく見かけますけど、新人の議員さんですか?」と言われることもあります。皆さんの応援の輪を広げていただければ幸いです、よろしく願いいたします。
- 「松岡あきみち」の看板(緑色、150cm×40cm)を人通りのある、目立つところに設置させてください。
- 活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯、スイーツ1皿分で結構です、ご支援よろしく申し上げます。
- お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストへ「温故創新」を配布して下さるボランティアの方を募集しています。
- ご意見、ご質問などは左記までご連絡ください。

### 【略歴】

しんでん幼稚園  
市立南丘小学校  
市立第九中学校  
府立北野高校  
同志社大学法学部政治学科  
大阪府信連(JAバンク大阪)

【議員歴】  
2007年 初当選 (2,791票)  
2011年 2期当選 (5,457票)  
2015年 3期当選 (6,024票)

第73代副議長  
【2016年度】  
総務常任委員会  
総合計画等調査特別委員会  
クリーンランド議会議員

